

平成17年度 NPO協働提案推進事業評価票 【NPO】

団体名:特定非営利活動法人 とよあしはら	事業名:とよあしはらプロジェクト	実施年度:17				評価日:平成18年3月1日	
項目	小項目	よくできた (2点)	ふつう (1点)	できなかった (0点)	該当なし	合計	自由記述
. 事業の目的と目標の設定について	1. 事業の目的と目標の設定は妥当であったか。					6/6	単なる設置業務ではなく、市民参加を促し、より多くの人が事業に係れる工夫をするなど、県のモデル事業として、ふさわしい努力目標が設定できました。
	2. 新規性のある内容であったか。						
	3. 経費の見積りは適切であったか。						
. 事業の進捗に対するNPOと県との相互理解	1. 事業の進め方に対してはお互い、情報交換をして進めることができたか。					6/6	事業を進めるに当たってはその都度、みどり自然課と調整を図り双方合意の上で進めることができました。また、県側のサポートに対しても意見交換を重ね、当団体の活動にマッチしたものにさせていただくことができました。
	2. NPOの自主的な活動を阻害されることなく事業が進められたか。						
	3. 対等な立場で事業効果を高める意見交換等ができ、相互理解が図られたか。						
. 事業実施に当たって	1. トラブルが発生した際の対応は適切に行われたか。				N	2/2	トラブルは特にありませんでした。内部の調整についても順調に進めることができました。
	2. 事業実施に当たっては団体内部において十分に検討がなされていたか。						
. 事業に関する情報公開	事業に関する広報をホームページ等で積極的に行ったか。					2/2	テレビ、新聞、雑誌等、マスコミへの情報提供を積極的に実施し、取材依頼を数多く受けることができました。
. 事業の成果	1. 当初の目的と目標は達成できたか。					8/8	浮島設置を単なる設置業務ではなく、行政や地元市民の方々とともにイベントとして楽しめるような工夫をしたことにより、新たなネットワークを形成することができました。
	2. 単独ではできなかったことができ、協働の効果があつたか。						
	3. 事業を通して、ネットワークが深まったり、新たなネットワークが生まれたか。						
	4. 団体として(当団体は)この事業を通して成長できたか。						
. 事業の波及効果	1. 県の事業として十分に県域的効果をもたらしたか。					4/4	本事業を契機にして、今後は県の内外を問わずイベント的要素をもつ環境保全活動の1つとして広めていきたいと考えています。
	2. 市町村や企業など、他の団体にも波及効果があつたか。						
. 今後について	1. 市町村や企業など、他の団体の理解が得られ、今後の発展性が期待できるか。					4/4	公共事業における仲人役の存在価値を実証できました。今後も仲介役としてより多くの団体とコミュニケーションをとり、浮島設置の有効性を一層広めていきたいと考えています。
	2. 同じ分野における今後の協働モデルとしてふさわしい事業だったか。						
全体を通しての意見 本事業でNPOが仲人役を果たす市民参加型公共事業のモデルを提案しましたが、事業の成果については大変満足 of いくものでした。今回の事業で協働した団体とは引き続き、協働して浮島を見守っていければと思います。また、事業の成果や評価結果については、有効に活用していただきたいです。						32/32	